

## 第1回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所  
2021年度第1回理事会議事録

日時:2021年1月8日(金) 19:00~

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・加度亮平・高橋建太・今岡正英・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・  
高升純・内海洋平・森川陵・大池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山  
敦好・吉田嵩正・小西琢真・中島裕一郎・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(オブザーバー) 山本圭介

(欠席者) 岡本正也

(遅刻) なし

(早退) 山本圭介

### 次第

1. 開会(歌一行)
2. 点鐘:(安楽城大作)
3. JCI クリード唱和:(島田昌広)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和:(吉田嵩正)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和:(内海洋平)
6. 出席者の確認:(加藤雄大)
7. 配付資料の確認:(歌一行)
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名:(安楽城大作)
9. 議題の確認:(歌一行)
10. 理事長挨拶:(安楽城大作)

皆さん、あけましておめでとうございます。

本日から2021年が本格的にスタートします。

新型コロナウイルスの厳しい状況が続く中、皆さん本理事会にご参加いただき誠にありがとうございます。

2020年はコロナ禍の中不透明な状況が続き、なかなか事業が思うように進められず大変なことが沢山あったと思います。

加度理事長をはじめとする理事メンバーの皆さんは一年間本当にお疲れさまでした。

改めて敬意を表したいと思います。

2020年は本当に激動な年でありました。

新型コロナウイルスの蔓延により、様々な社会活動が変化しました。

## 第1回理事会 議事録

また、年末にはアメリカで政権が交代し、今後世界情勢が変化していくことが予想されます。

加えて、菅内閣が脱炭素を推進していくことを表明されたのに伴い、これから様々な産業で様々な変化が訪れるといわれています。

変化することには、不安が伴います。その不安が消費活動を停滞させる可能性は大いにあります。

2021年という年は、その変化に対してどう対応していくかが求められる「勝負の年」であると思っています。

先行き不透明な状況が続きますが、皆さん一人一人が「自分の存在意義」そして「会社の存在意義」を今一度認識し、

どのような未来がやってこようとも、それらの意義を続けていけるように「種をまく」。そういう必要がある一年ではないでしょうか。

我々は組織のリーダーであるので、様々な変化に対応できる決断力や適応力などの「リーダーの資質」がますます求められるでしょう。

青年会議所活動においては、こういう状況下で「何をするのか」「何を求められているのか」そういった本質的なものを見極め、本気で取り組んでいってほしいと思います。

その中で生まれる、決断する力や、様々なコミュニケーション、情報収集力は自分の力になると思いますし、

最終的には、青年会議所活動で得たものをそれぞれ会社に持ち帰ってほしいと思います。

理事メンバーの皆さんは、積極的に活動を進めていく立場にあります。

是非この一年を活かして「自分に何ができるのか」ということを自分の中に作り上げてもらいたいと思います。

また、新年1発目の挨拶で取り上げるのは残念ですが、1点大事なことでお話ししておかないといけないことがあります。

去年の卒業例会において、色々なOBの方々にご出席頂きましたが、終了後に色々と苦言を頂きました。

伺ってみると腑に落ちるものが大半でありました。

なぜそういったことになったのか、深く反省をし、考えました。

まずは、OBの方々をお呼びすることに対して配慮が欠けていたと思います。

また、卒業生に対して本気で送り出そうという気持ちが欠けていたようにも思います。

何より私が一番問題だと思ったのは、私も含めて、担当委員会以外のメンバーが余りに無関心であったのではないかとということです。

振り返ってみれば、新型コロナウイルスの影響で卒業例会の開催が危ぶまれる状況でありました。

## 第1回理事会 議事録

内容1つ1つを精査することすらできない状況で、担当の委員会の皆様は大変ご苦勞なされたと思います。

委員長というのは、やることが初めてのことばかりであり、理事経験のあるメンバーが気に掛けてフォローをするべきであったと感じます。

理事を経験していない若手のメンバーであっても、本気で取り組んでいれば意見が出てきたのではないかと思います。

そういう無関心さが透けて見えたのではないかと思います。

同時にこの問題は、近年尾道青年会議所が抱えている一番の問題の本質ではないかと感じました。

去年の加度理事長も、一去年の山北理事長も「全員でやりたい」ということを言われてましたが、それができていないのだろーと思います。

組織として動くためには、利己の精神ではなく利他の精神を持ち、個人それぞれの役割を意識し、事業に向き合っていかなければいけないと改めて感じました。

私も含めて、組織として襟を正して臨む必要があると思いました。

こちらに関しては委員長の皆さんは、委員会メンバーの皆さんにも共有をお願いします。来週には新年例会があります。

これも全体で創り上げるというのを意識して頂き、一年のスタートを切りたいと思います。

2021年、様々な事業を行うと思います。

非常に難しい一年になると思いますし、理事メンバーの皆さんは苦勞する局面も多々あるかとは思いますが、皆で話し合い、助け合い、それぞれが本気で活動に向き合って、一年間やりきりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 11. 直前理事長挨拶：（加度良平）

あけましておめでとうございます。

去年は皆様の多大なるご協力を頂き、尾道青年会議所として街に大きな成果を与えることができたと思います。

ご協力頂いた皆様には感謝を申し上げます。

そして2021年がスタートできたことを本当に嬉しく思います。

是非ここにいる理事メンバーの皆さんを中心に安楽城理事長を盛立てて、素晴らしい活動ができるよう祈念しております。

昨年を振り返りますと、安楽城理事長がおっしゃられたように、新型コロナウイルスは私たちの活動に大きな影響を与えました。

大変悩ましい年でしたし、私自身もしっかりとしたリーダーシップを発揮できない場面もありましたが、そんな中でも多くの事業を実施し、成果を上げたことは、私たち自身誇って良い事であると思っています。

## 第1回理事会 議事録

1点反省をしなければならないことが、先ほども出ました、卒業例会に関することです。まず、お叱りを受けた内容に関してですが、

「安保先輩や空谷先輩が入室されているにも関わらず、ほとんど誰も挨拶に伺わず放置してしまった」

「送辞に関しては、卒業生を小馬鹿にしたものが見られ、内容も特になく、進行もだらだらとしていた」

といったご指摘を頂きました。

その他も沢山のご指摘を受けていますが、中には「最低最悪の例会だった」という厳しい意見も頂きました。

先輩方は、このような状況をまかり通している今の尾道青年会議所に呆れかえっておられる現状です。

これは決して担当委員会のせいであるということではなく、そういった環境を作ってしまったのは私のリーダーシップの欠如が原因だと思います。

そういう失敗を2021年に引き継いでしまったことを非常に申し訳なく思いますし、その上で皆さんにはこういう状況を改善するためにご協力頂きたいと思います。

安楽城理事長はよく「楽しゅうしょうや」と言うふうにおっしゃられますが、これは決して楽しければ何をやっても良いということではないということはありません。

「楽しゅうしょうや」は他社を受け入れ、感謝と敬意を持ち、能動的に行動することであると安楽城理事長もおっしゃられておりましたので、私たちはその本質をしっかりと理解して行動しなければならないと思います。

最後に、叱って頂いた先輩方ですが、本来は何も言わない方が「うるさい先輩」というレッテルも貼られずにすんだにも関わらず、叱って頂いた。

これは私たちに愛情を持っているからであるということを、ここにいる皆さんには絶対にわかって頂きたいと思います。

そして、間違いに気づかせて頂いたことに関しては感謝をしなければならないと思います。

これから私たちの行動を通じて「2021年に尾道青年会議所は良くなった」と言ってもらえるように行動していくのが最善だと思います。

本日の理事会においても是非活発な意見交換をして頂き、切磋琢磨して頂くのがこの会の目的ですので、そこを踏まえて会を進行して頂きたいと思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 12. 理事長報告：（安楽城大作）

資料にて確認

### 13. 委員会報告：

## 第1回理事会 議事録

【社会開発室】（島田元太）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載の通り、開催できておりませんがラインでの情報共有や電話での相談をしています。

今回は13日開催予定です。事業について話したいと思います。

「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載の通りです。

社協との災害ボランティアの登録ですが62名の登録をいたしました。

1月31日のセミナーですが30名の出席を頂いております。

ご協力ありがとうございました。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載の通りです。

報告期間での委員会は実施しておりませんが、昨日実施しました。

3月例会、家族会、交流例会に関して話し合いました。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

委員会報告は記載の通りです。

2月例会について準備しております。

12日に次回委員会開催予定です。

【JC 運動推進室】（高升純）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

委員会報告は記載の通りです。

現在、仮入会員が1名です。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告は記載の通りです。

1月例会に向けて話し合っています。

14. 審議事項：（安楽城大作）

第1号議案 夢見る大切さ促進事業 事業計画（案）補正予算（案）に関する件  
（高山敦好）

資料読み上げ（1-1,1-2）

## 第1回理事会 議事録

クラウドファンディングにて多大な寄付金を頂き、予算が変更、補正がありましたので上程させて頂いております。

資料 1-3 参照。

まず収入に関してですが、クラウドファンディングの寄付金が 1,417,500 円が当初でしたが、4,428,110 円に変更になりました。

それに伴い支出の面でも色々の変更がございました。

会場を増やして実施したため、会場の申請手数料が増えました。

また、打ち上げの花火数も増やしたので金額が増えました。

動画作成も打ち上げ場所が増えたことと、ドローン撮影も行ったため金額が増えております。

余剰金に関しては、尾道市役所に 1,147,095 円寄付いたしました。

以上、補正予算に関して審議お願いいたします。

\* 全会一致で承認。

第2号議案 夢見る大切さ促進事業 事業報告（案）決算（案）に関する件  
（高山敦好）

資料読み上げ（2-1,2-2,2-3）

総評になりますが、「コロナ禍という状況なので、協議、審議を飛ばして急いで打ち上げた方が良いのではないか」という意見もありましたが、やはり協議、審議を重ねて良かったと思っています。

皆様に意見を頂きながら事業を作っていくことで、より興味を持って貰うことができ、寄付等の支援も素早く集まったのではないかと思います。

改めて協議、審議の大切さを感じました。

また、内容としては「花火を打ち上げた」ということで、もの凄く特別なことをやったわけではありませんが、コロナ禍の中市民の皆さんの期待をくみ取った形で良い事業ができたのでは無いかと思います。

慎重なる審議をお願い致します。

（安楽城大作）

本議案に関してご意見ご質問ありましたら挙手にてお願い致します。

（小西琢真）

## 第1回理事会 議事録

いくつか苦情もあったということですが、「これは良くなかったな」という苦情はありましたでしょうか。

(高山敦好)

隣接する家の方には事前に伝えておくべきだったと思います。

事前に挨拶に行けた家もありましたが、漏れてしまった家もありましたので、そこは反省点だと感じます。

その他の苦情に関してですが、事前に情報が漏れていたことに対して、

「これは尾道市の事業ではないのか。自分も税金を払っている市民であるのに、どうして自分は知らされていないのか。」という意見もありましたので、情報が漏れることも良くはなかったと思います。

(内海洋平)

クラウドファンディングからの寄付金についてですが、「OBも含めたJC関係者」「それ以外」はどのくらいの割合だったか、体感で良いので教えてください。

(高山敦好)

体感ですが、9割がJC関係者だったように感じます。

\*全会一致で承認。

第3号議案 豊かな人材育成委員会事業の調査・研究・実践 事業報告(案)決算(案)に関する件

(沼田剛志)

資料読み上げ(3-1,3-2)

収支に関して変更があった箇所を報告致します。

参考資料(3-3)

「企画演出費」の欄ですが、短冊の予定より多く購入したため金額が増えております。

これは、各小学校に短冊を書いて貰う為にお渡しし、回収までの時間になくしてしまったケースが多数あり、予備を上回ってしまったためです。

また、「保険料」に関してですが、見積もりを取った時点で保険を掛けたと思い込んでしまっており、実際は保険が掛かっていない状態での事業になりました。

そのため保険料は0円となっております。

深く反省しております。すみませんでした。

## 第1回理事会 議事録

また、「通信手数料」が広島銀行から他行への振り込みで必要な料金 770 円を計上しておりましたが、広島銀行から同行への振り込みであったので 440 円が実際にかかった金額になります。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

(安楽城大作)

本議案に関してご意見ご質問ありましたら挙手にてお願い致します。

(小西琢真)

当日参加した際に気になったことがあったのですが、バルーンリリース前に風船が1個、北側に飛んでいっていました。

もしも、電線や電車に風船が引っかかってしまった場合の対応は考えられていたのでしょうか。

(沼田剛志)

事前に尾道駅に挨拶には伺いました。

「風を気にして行って欲しい」という風に言われ、気にしてはいたのですが、空気が抜けてしぼんだものがテントをすり抜け飛んでいってしまいました。

「風船がしぼみ、テントをすり抜ける」という事態を想定できておらず、そこは反省点であると感じています。

\*全会一致で承認。

第4号議案 卒業例会行事 事業報告(案)決算(案)に関する件

(山本圭介)

資料読み上げ(4-1,4-2)

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\*全会一致で承認。

第5号議案 真のしあわせを知る経営者育成事業 事業報告(案)決算(案)に関する件

(岡本大輔)

資料読み上げ(5-1,5-2)

当日の写真は沢山あるのですが、家の外観が移っていることや、お子様の顔が写っていることなどから、プライバシーに配慮致しまして、「回覧資料」として作成してまいりました。



## 第1回理事会 議事録

今から回覧して頂くので、ご確認下さい。

資料 5-4 参照。

収支計算明細書についてですが、報告がございます。

駄菓子用包装容器×65 個についてですが、当初「長靴の形の容器」にお菓子を詰めて配ればお子さんが喜んでくれるのではないかと計画していました。

しかし、予算内でお菓子を購入し容器に入れようとしたところ、入りませんでした。

そこで急遽「靴下の形をした袋」に変更をした部分で差異が出ておりますので、ご確認下さい。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\* 全会一致で承認。

第 6 号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【JC ライフの発行】事業報告  
(案) に関する件

(山本圭介)

資料読み上げ (6-1,6-2)

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\* 全会一致で承認。

第 7 号議案 活動記録の整理・保存及び広報活動の実践【情報通信技術 (ICT) を活用】  
次号報告 (案) 決算 (案) に関する件

資料読み上げ (7-1,7-2)

資料 7-5 参照。

こちらがフェイスブックに関しての資料となります。

右下に昨年度との比較を数値として載せております。

掲載数は有事の背景もあり、去年と比べて半分になっておりますが、「イイね」の数の平均値は、昨年 の 2 倍になっております。

以上より、効果的な内容であったことがデータから伺えます。

資料 7-6 参照。

こちらは HP の資料になっております。

閲覧数に主軸を置いて記載しております。

月平均で約 160%アップしております。

## 第1回理事会 議事録

花火事業の告知後の数値の増加が著しく、新規のユーザーも昨年の2倍の数値となっております。

### 資料 7-7,7-8

これらは広報対比検証の資料になっております。

高山前委員長の行われた花火プロジェクトにおきまして、「デジタル広告」を用いて広報活動を行いました。

そちらと、2019年度の公開例会で行った、「従来の手法であるポスター」を用いての料金について比較した資料になります。

検証の結果は記載の通りであり、WEBを用いた広報活動は有力であったと考えます。

但し、適切な費用対効果を出すためには、資料7-8に記載しておりますが「サービスの選定」「予算規模」「サービス開始から運用中の判断力」「炎上などのリスクマネジメント」等の専門知識が必要となるため、注意が必要です。

普段からサービスを展開している業者や、付き合いのある業者などにアドバイスをもらい、実施していくことが必要になると考えます。

補足説明に関しては以上です。

問題点についてはございません。

### 資料 7-4 参照

収支予算書について、差異のある部分だけ説明させていただきます。

まずは「サーバーレンタル費用」「ドメイン管理費用」につきましては、予算の金額を税率8%で計上しておりました。

現在10%となっておりますので、そちらとの差異になります。

それと、備考の欄の「ディアジャンクション」は「メディアジャンクション」の間違いです。訂正お願いいたします。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\*全会一致で承認。

## 第8号議案 2021年度一般社団法人尾道青年会議所 理事長の選定（案）に関する件（歌一行）

### 資料読み上げ（8-1,8-2）

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\*全会一致で承認。

## 第1回理事会 議事録

第9号議案 2021年度一般社団法人尾道青年会議所 委員会構成図（案）に関する件  
（安楽城大作）

資料参照（9-1）

こちらについては組織図を記載しております。

ご確認頂き、慎重なる審議をお願い致します。

\*全会一致で承認。

第10号議案 2021年度 理事予定者会議における審議上程事項の追認（案）に関する件  
（歌一行）

資料読み上げ（10-1,10-2,10-3）

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\*全会一致で承認。

第11号議案 会員拡大の調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）に関する件  
（吉田嵩正）

資料読み上げ（11-1,11-2,11-3,11-4）

1点変更がございます。

資料11-2の「目標の設定」についてですが、資料では本理事会にて審議可決後に、2021年度拡大目標を記入して発表して頂きます、とありますが、

各委員長にメールで配信しますので、今月中にそちらにご記入頂き、私にお渡し頂ければと思います。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

（高山敦好）

ライングループを全体で作られるということですが、発言には注意が必要だと思います。何か不適切な発言などありましたら、何か対応は考えられているのでしょうか。

（吉田嵩正）

まずは個別に注意をしていただくと同時に、合同委員会等でこちらからも「拡大以外の事柄については発言しないように注意を促していく」ということをしていきたいと思います。

（高山敦好）

その辺は徹底して頂きたいと思います。

## 第1回理事会 議事録

もう一点は、拡大委員会以外のメンバーは「訪問活動」「結果」についてなかなか書きづらいのではないかと思いますので、その辺はどのようにお考えでしょうか。

(吉田嵩正)

もし書きづらいという方がおられましたら、私や委員会の担当者に連絡して貰う形でも構いませんので、漏れの無いようにだけして頂ければと思います。

\*全会一致で承認。

第12号議案 例会・総会の設営及び運営【2月例会時間の変更】事業計画（案）に関する件

(小西琢真)

資料読み上げ(12-1,12-2)

資料(3)に「例回終了時間を」とありますが、「例会開始時間を」の間違いです。

訂正お願いいたします。

以上、慎重なる審議をお願い致します。

\*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 例会・総会の設営及び運営【定時総会の開催】事業計画（案）について

(小西琢真)

資料読み上げ(13-1,13-2)

資料13-4の「日時」の箇所ですが、「18:00 セレモニー」とありますが、正しくは「18:30 セレモニー」です。

訂正をお願いいたします。

以上、慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(安楽城大作)

質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

第2号議案 2月例会 事業計画（案）予算（案）について

(山本恭平)

資料読み上げ(14-1,14-2)

資料14-3の「収支予算案」についてご説明させていただきます。

まず、収入についてですが「事業費繰入収入」として60,000円となっております。

## 第1回理事会 議事録

次に

支出に関してですが、「会場設営費」と「看板代」で7,000円。

「講師関係費支出」で50,000円を株式会社になべん様へお支払いします。これは「宿泊費」「交通費」「謝礼費」込みの値段です。

「資料作成費支出」で、アンケート作成費として、1枚3円×66人で198円。

「通信費支出」として、振込手数料を880円。

「事業予備費支出」として、1,922円を計上しております。

続いて、資料14-5の「2月例会事業 概要（案）」について説明いたします。

主に「講演の内容」と「対談の内容」について、ここでは説明させて頂きたいと思います。

講演時間は55分を予定しており、その中で大きく3つのテーマについてお話し頂く予定です。

1つめが「組織を継続していく上で、守り続けていることや変化させたこと」

こちらは321年の歴史の中で、それぞれの時代にどのように対応されてこられたのか。

また、時代が変わっても変わらずに守り続けてきた軸となる物をお話し頂きます。

「組織として継続していくために必要な物は何か」という事を学べればと思います。

2つめが「異業種との繋がりについて（タイアップやコラボレーション）について」

株式会社になべんは、異業種や地域の方々など外部との協業で新たな取り組みに挑戦されております。

異業種同士だからこそ、新しいことに挑戦できた事例をお話頂くことで、我々尾道青年会議所の今後の活動の良い手がかりになるのではないかと考えます。

3つめが「社員の子供が入社する組織作りについて」

株式会社になべんでは、親子2世代にわたって勤められる社員さんがいらっしゃいます。

経営者が親子で働くことは良くあると思いますが、社員さんが親子で働くことは稀であると思います。

私は3年間、こちらで勤めさせて頂きましたが、一番感銘を受けたのがこの点でありました。

何故、社員さんが親子2世代にわたって勤めるのかを考えたときに、組織の内部が親密に繋がっているからこそ、そういう社員さんが出てくるのではないかと感じました。

青年会議所も10年、20年先に組織を繋ぐために、「親密に繋がる組織作り」は学んでいく必要があると考えます。

続いて対談についてですが、19分の時間を設けております。

こちらは2つのテーマを軸に考えております。

1つめが「組織としてニューノーマルにどのように対応していくか」

## 第1回理事会 議事録

2つめが「高津氏が好きな言葉『ワクワクする』ことについて」

の2つを軸に対談を進めさせて頂こうと考えております。

今回の例会を考える上で、「組織を活性化するためには、同一の目的意識を共有する」事が重要であると考えました。

単年度生で編成が組まれる尾道青年会議所だからこそ、早い段階で1年間のテーマを浸透させることで、1年間の活動をスムーズに行えるのではないかと考え、そのために対談を組み入れております。

以上、慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(沼田剛志)

2月7日まで緊急事態宣言が出るという話がある中で、万が一期間が延長された場合、どのように対処されるかお考えはありますでしょうか。

(山本恭平)

今回の上程に関しては、通常通り行う前提で作成しております。

今後の緊急事態宣言等の状況を見定めて、ZOOM等のオンラインを活用し開催できるようであればしたいと個人的には考えております。

しかし、国や地方自治体等の方針によっては、方向転換も考えないといけないだろうとは思っております。

(安楽城大作)

コロナに関してはいろんな段階があると思います。

「講師の先生が来られないが、例会自体は開催できる」という状況であれば、先生にお願いしてオンラインで講義を頂く形を取ればと思います。

しかし、仮に「例会自体が開催できない」というような事態になれば、中止にせざるを得ないのではないかと思います。

今のところはできる前提で考えて欲しいとお願いしておりまして、今後の状況を見ながら進めていくしかないと思います。

その他何かありますでしょうか。

(森川陵)

先ほど講演内容の3つのテーマをご紹介して頂きましたが、山本委員長としては「社員の子供が入社する組織作りについて」というテーマについての思いが一番強いとおっしゃられておりました。

## 第1回理事会 議事録

尾道青年会議所にも学ぶところが沢山ある大事なテーマであると思いますが、資料の講演のスライドを拝見すると、そのテーマに関してのスライドの割合が少ないように感じます。

高津社長様は大変お忙しい方だとは思いますが、山本委員長のそういう想いはちゃんとお話しされているのでしょうか。

また、当日の講演にもそこも織り込んで頂いて、お話しされる予定でしょうか。

(山本恭平)

今回の参考資料として、パワーポイントを用いたスライドを載せております。

こちらが「直近で使った講演内容」になっており、よりイメージがしやすいだろうということで使用しております。

事前に高津社長とは直接お会いして打ち合わせを行っており、ご本人にも「親子2世代で働かれていることに一番感銘を受けました」ということは伝えております。

高津社長様からも「その部分も組み込んだ講演内容にしたい」と了承を頂いております。

(内海洋平)

講演と対談という形を取られておられますが、対談の中で「ニューノーマル」というキーワードがあります。

個人的には、対談ではよりお二人の本音が聞ければと思っております。

何かこちらに関してイメージなどはありますでしょうか。

(山本恭平)

対談の「ニューノーマルにどのように対応していくのか」という部分についてですが、今回の例会テーマとして「繋げる為に繋がろう」を掲げております。

ですので、人との繋がりに重点を置いてお話し頂ければ一番良いのではないかと思います。

具体的には、コロナ禍の状況でWEBを使った会議や商談が今後ビジネスツールとして普及していく中で、対面での話し合いでの熱量が中々伝わりづらいという側面もあり、そういう問題をどのように打開していくのか。

そういった点に関して対談ができればと思っております。

(安楽城大作)

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

第3号議案 持続可能な魅力あるまちづくり創造への調査・研究・実践 事業計画(案)  
予算(案)について

## 第1回理事会 議事録

(内海洋平)

資料読み上げ(15-1,15-2,15-3)

続いて、予算について説明させていただきます。

資料15-5「収支予算明細書」をご覧ください。

まず収入に関しては、事業費繰入収入として合計200,000円を計上しております。

支出に関してですが、順に説明いたします。

『会場設営費支出』ですが、「会場費支出」として、尾道市市庁舎に40,480円。

「設営費支出」として、「iPad レンタル20台」で41,910円。「ディスプレイのレンタル」で19,800円としております。

『企画演出費支出』ですが、「動画編集を担当頂く、原田メガホン様」に20,000円。「コーナー備品購入」として13,530円。Vtuber 体験に必要な「クロマキー購入」として3,200円としております。

『講師関係費支出』として、「Vtuber あにむず様」へ交通費込みで10,000円としております。

『広報費支出』として、「チラシA4サイズを10,000枚とポスター100部 紙誠株式会社様」へ36,080円。「デザイン費 Yuuki Design 様」へ15,000円としています。

『事業予備費支出』は0円として合計200,000円としておりますが、この度尾道市のご協力により、施設使用料の全額免除が昨日決定いたしましたので、そちらは事業予備費支出として次回の上程までに変更させていただきます。

続いて「事業概要(案)」について説明させていただきます。資料☆

大きく分けて4つのコーナーを設営しようと考えています。

1つめが、2階多目的スペースにて行う「撮影コーナー」です。

こちらは入場フリーで、どなたでも入場できる設えを予定しております。

チャレンジコーナーや実験コーナーだけでなく、子供達が尾道の良さを感じられるようなコーナーなども用意していこうと思います。

2つめは、尾道市議会議場で行う「特別体験コーナー」で、こちらは予約制になっており、尾道議会事務局様との共催予定で、尾道市議会議長と副議長が参加予定となっております。

1時間に10名程度の小学生に発言して頂き、合計で70名の参加を見込んでおります。

親御さんは傍聴席で見学、撮影が可能になっております。

希望者のみ、発言している様子を原田メガホン様に編集と動画アップをしてもらい、子供達の考えや楽しみを同世代、親世代を中心に多くの方に発信できればと思っております。

3つめは、多目的スペースで行う「編集コーナー」です。



## 第1回理事会 議事録

当日撮影した物でも、持ち込みでも対応しようと思いますが、それらを原田メガホン様にレクチャー付きで編集し、持ち帰って貰う予定です。

簡易的な編集に関しては、委員会メンバーが習得し、対応を行う予定です。

4つめは、多目的ホールにて「体験コーナー」を2つ設ける予定です。

1つは「インターネットのよいところ・悪いところ」を知って貰うコーナーになります。紙の資料や動画を使用して、知識を得て貰えるようにできればと考えています。

子供だけでなく親御さんも、インターネットの怖さを感じている方も多くおられると思いますので、そういう部分も織り込んで創り上げられればと思います。

2つめは「Vtuber 体験」で、広島在住の地域 Vtuber「あにむず様」という方々がおられまして、6名で活動されております。

あにむず様にご協力頂き、合成技術を用いたキャラクターとの共演など、中々できない体験を提供したいと考えています。

6名全員来ていただけるかはわかりませんが、多くのメンバー様にご参加頂ける予定です。

2021年度に尾道青年会議所として行う、対外的な最初の事業になります。

地域の皆さんに楽しみを与えて、笑顔が溢れる事業にしたいと思いますので、皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

以上、慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(山本恭平)

今回の議案名に「持続可能な魅力あるまちづくり」とありますが、内海委員長の思いが今事業でどのように形になっているのかお教え下さい。

(内海洋平)

今回の事業について「持続可能」というキーワードで、2つの視点から考えました。

まずは、「現役世代が将来を担う世代に何かを残していく」ということの重要性から、将来を担う子供達に何かできることがないか、という点が1点。

もう1点は、このイベントが1回やって終わりということではなく、何かに続いていくことが重要だろうと考えました。

その上で、「議員の方に話を聞いて頂く」ことで、日頃から町作りに携わっている議員の方が子供達の意見を聞くことで、何かに繋がっていくのではないかと考えました。

また、子供達から出てきた意見を尾道青年会議所として事業なり何かの形で今後活かせるのではないかと考えています。

## 第1回理事会 議事録

そして Youtube にアップロードすることで、子供達の意見を地域や世代を超えて様々な方に発信でき、知って貰うことで持続可能なまち作りに寄与できるのではないかと考え、事業を構築致しました。

(小西琢真)

基本的なことを1点質問したいのですが、「Vtuber」というのは何なのでしょう。

(内海洋平)

Vtuber に関してですが、資料 15-10 をご覧下さい。こちらにあるように、アニメーションが人間のように動いたり、話したりするようなものだと思って貰えればと思います。

(中島裕一郎)

未来ビジョン委員会の方々と、当日参加される JC メンバーにどういうことをやって欲しいのか、もう少し具体的に教えて下さい。

(内海洋平)

資料 15-35 に、簡単に各委員会の役割を載せておりますのでご確認頂ければと思います。未来ビジョン委員会メンバーについてですが、先ほど説明させて頂きました「簡単な動画編集」の理解を深めるのと実践をやって頂くのと、「議会のコーナー」も当委員会が担当予定です。

当日参加頂く皆様には、体験コーナーであったり、誘導であったりをして頂ければと考えております。

その他、細かいところに関しては委員会内で引き続き議論したいと考えます。

(中島裕一郎)

資料 15-11 のタイムスケジュールに関してですが、全体で 10:00～17:00 の中で、30 分ごとに1班から7班の動画編集があるようになっています。

最初の質問にも繋がってくるのですが、結構タイトなスケジュールであると感じます。

当日は他のコーナーなどもある中、色々と忙しくなるのでは無いかと思いますが、こちらのタイムスケジュールはそこまでタイトとは考えられてないのでしょうか。

(内海洋平)

発表の内容が1人1分程度だと想定しております。

そこから編集作業になりますが、ある程度テンプレートを決めるなど工夫してやろうとは思っております。

## 第1回理事会 議事録

まだ実際に10人で行うシミュレーションをやってないので、これから委員会で詰めていければと思います。

また、「移動時間」も考慮してより細かいところも詰めていきたいと思います。

(中島裕一郎)

まだ4月までに時間はありますので、その辺りはしっかり詰めて頂ければと思います。

また当日は、外部の協力者の方々に色々やって頂く事になるので、その辺りもきちんと打ち合わせをしておく必要があるかと思っています。

当日参加するメンバーにももっと明確にどういう役割をやってもらうかも決めて貰った方が良いと思います。

(島田昌広)

資料15-6の「Youtuber体験」についてですが、「チャレンジコーナー」「解説コーナー」「レビューコーナー」など設けるとあり、それぞれに例が挙がっていますが、内容によってどういう物を用意するのかが変わってくると思います。

具体的にどういうことをやりたいのか何かあるのであれば教えて頂ければと思います。

(内海洋平)

先ほど予算について説明した際に、市役所の会場費が全額免除になったとお伝えしましたが、そこがどうなるかで準備物に使える金額が変わってくる状況にありました。

免除頂いたことで、お金を掛けて何か盛り上がる物を作りたいと思っています。

例えばチャレンジコーナーの例にあります「お菓子を何個つめるのか」であれば、お菓子ならお菓子で、「地元の物を使えるのではないかな」などいろんな意見が委員会内で出ています。

レビューコーナーの例の「尾道のうまいものを食べてみた」であれば、実際に食べ物を用意して食べてレビューをしてもらうなどして、楽しんで頂きながら「尾道らしさ」を感じられるようなコーナーにしていきたいと考えています。

(吉田嵩正)

せっかくYoutuber体験ができる設備を用意されるので、子供達からどういう体験がしてみたいか聞き取りをして、出た意見から実現するというのは考えられてないでしょうか。

(内海洋平)

子供達への聞き取り調査は考えております。

出てくる意見を参考にして、事業を組み立てられればと思っております。

## 第1回理事会 議事録

(高山敦好)

何点か質問があるのですが、1つずつ質問させて頂ければと思います。

まず、4月4日を選んだ理由をお聞かせ下さい。

小学生は年度替わりのタイミングで忙しいと思うのですが、この日以外は空いてなかったのでしょうか。

(内海洋平)

小学生の春休み期間に実施したいと考えました。

その中で3月28日と4月4日を候補日に設定したのですが、3月28日は多目的スペースが使えないため、4月4日に設定しました。

(高山敦好)

来場人数を680人とされておりますが、目標人数が680人ということで良いのでしょうか。

小学生にYoutuberを体験して頂くというのは非常に良い着眼点だと思いますし、喜んでもらえると思いますが、非常に濃密な時間になると思います。

また、事業内容にあるように、収容人数1時間辺り87名×7時間だと609人とは数字が異なってきますので、来場人数に関して詳しく教えて頂ければと思います。

(内海洋平)

滞在時間が1時間くらいではないかと仮定しております。

最大収容人数が定められていますが、一番有効的に活用した場合で680名程度になるだろうと仮定しております。

その人数を目標としておりますので、多くの方に来て頂けるように頑張りたいと思います。

(高山敦好)

一昨年、一緒に「SDGsパーク」をやらせた頂いたと思いますが、そのときと同じように「1つ1つのアトラクションにかかる時間」がありますので、そこから逆算していかなければ、事業が回らないと思います。

「〇〇に〇分」「〇〇に〇分」というように細かく仮定し、時間配分と人数配置を決定する必要があります。

そうした上で目標人数を出された方が良くと思いますが、いかがでしょうか。

(内海洋平)

## 第1回理事会 議事録

先ほどの中島副委員長のご意見と合わせて、再度検討、シミュレーションさせて頂きたいと思います。

(高山敦好)

「SDGs パーク」の際も、細かなシミュレーションの時に「あれが足りない、これが足りない」と気づきがあった記憶がありますので、細かなシミュレーションをお願いします。

もう一点、来場者の年齢について質問があります。

小学一年生から六年生までを対象にされておりますが、何かを作成する際に年齢で大分内容が変わってくるかと思います。

今回、そういう風に幅を持たせたターゲットを設定されたことについてはどうお考えでしょうか。

(内海洋平)

ご指摘頂いたように、小学校の低学年と高学年では色々な面で違うとは思いますが、そういう中で多様な意見が出てくるのが面白いのではないかと考えています。

また、運営側も、各種説明などを対象の子供達にあわせて、わかりやすい言葉で説明できれば良いのではないかと思います。

(高山敦好)

これから来場人数については再度精査していただければと思いますが、「集客方法」についてはどのようにお考えでしょうか。

(内海洋平)

集客方法については、全小学校の全生徒にチラシを配布しようと考えております。

また、尾道市内のスーパー等でポスターを掲示して宣伝しようと思います。

総務広報委員会とも連携し、SNS 等も活用すると共に、告知動画も作成しようと思っております。

(島田昌広)

資料 15-30,15-31,15-32 のアンケートについてですが、「来場者アンケート」と「WEB アンケート」の2種類アウトのことですが、こういった使い分けを考えられているのでしょうか。

(内海洋平)

その場でアンケートに答えて頂ける場合は、「来場者アンケート」。

## 第1回理事会 議事録

アンケートに答える時間が無い人には、「WEB アンケート」にご協力頂きたいと思っております。

(山本恭平)

アンケートについて質問なのですが、今回の事業目的に対して、このアンケートのどの部分が評価されて欲しいなどがあればお聞かせ下さい。

(内海洋平)

「評価」という点では、質問3.「何が勉強になりましたか」、4.「いま、何をするのが楽しいですか」の質問で測れればと思います。

個人的には、未来に繋げていくという上では4.「いま、何をするのが楽しいですか」、5.「尾道でどんなことがあれば楽しいと思いますか」などの質問に答えて頂ければと思います。

(島田昌広)

資料 15-7 の「やりたいことを発言してみた」についてですが、これは年齢に関係なく、子供が一人でやりたいことについて発信するということでしょうか。

(内海洋平)

1人ずつ登壇して頂き、発言して貰う形になっています。

(島田昌広)

仕事柄、子供達に話して貰うという機会があるのですが、5, 6年生であれば話せる子が多いですが、1, 2年生は話すつもりで出てきても、止まってしまったりすることが良くあります。

そういう時に、何かこちらから質問を投げかけて、話しやすい雰囲気誘導してあげる設えがあると良いかと思います。

中には泣き出してしまう子もいますので、低学年の子供達が話しやすいようにできれば良いのではと感じました。

(内海洋平)

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(安楽城大作)

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：（歌一行）

資料の最後のページに、資料 16-1 として「出向者一覧」を付けておりますのでご確認のほどよろしくお願い致します。

本年度は加度ブロック会長を始め、多くの方が広島ブロックに出向されておりますので、皆さんのバックアップを何卒よろしくお願いいたします。

また、本資料には掲載がありませんが、冒頭の安楽城理事長と加度前理事長よりご報告があったとおり、昨年の卒業例会について OB の方々から様々なご指摘があったことを受け、大池委員長より「今理事会終了後に新年宴会について再確認をしたい」という申し出がありました。

皆さんお時間頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

17. 連絡事項：（加藤雄大）

まずは次回上程締め切りですが、1月19日（火）17:00 までによりしくお願いいたします。

次ですが、本日皆さんにメールを入れさせて頂きましたが、1月16日に予定されておりましたブロックの新春会議が中止の連絡を頂いております。

その際に使用予定だった動画等資料を後日頂く予定なので、届き次第皆様と共有させて頂きたいと思います。

18. 監事講評：

（今岡正英）

お疲れ様です。監事講評をさせていただきます。

まず、昨年の報告審議としていくつか上程がありましたが、その中で高山委員長の実施された花火プロジェクトについては各方々から絶賛の意見を頂いており、本当に良い事業であったのがわかりました。

私自身も、身の回りの JC 関係者以外の人達からも感動や喜びの声を沢山頂きました。

また、沼田委員長のバルーンリリース事業と、岡田委員長のウーバーサンタ事業も無事実施することができました。

年の瀬の迫る中での事業ではありましたが、子供達も喜んでいたということで、やれてよかったと思っています。

皆様にはお忙しい中ご尽力頂きありがとうございますございました。

そして、本日の協議事項で上がっておりました山本委員長の2月例会についてですが、株式会社になべんの高津社長様の講演ということで、非常に楽しい内容であると感じました。

長寿企業というのは、何かしら特色がありそうなので、組織を「永続させる」ために非常に役に立つ、楽しい例会になると思います。

## 第1回理事会 議事録

最後の内海委員長の「Youtuber 体験」ということで、時代に沿った面白みのある企画であると感じました。

その中でも「尾道を考える」というキーワードがあり、大事なポイントではないかと思えます。

是非子供の記憶に残るような事業にして頂きたいと思います。

以上、監事講評と致します。

(高橋建太)

皆様、改めまして新年あけましておめでとうございます。安楽城理事長におかれましては本日の理事会で理事長選定議案が承認となり、無事に 2021 年度尾道青年会議所がスタートしたこと、誠におめでとうございます。

議案については今岡監事が講評していただいたので私からは 1 点のみお伝えさせていただきます。

冒頭、安楽城理事長、加度直前理事長も話されましたが、昨年の卒業例会において OB 特別会員に対して配慮が欠ける部分がありました。来週開催される新年宴会でも OB 特別会員をお呼びする形式になります。しっかりとした配慮を行って、粹な対応を心がけていただければ、素晴らしい 1 年のスタートになると思いますので、宜しくお願いします。

以上、素晴らしい 1 年になることを祈念して、簡単では御座いますが監事講評とさせていただきます。

19.次回開催日の確認：(歌一行)

2月8日(月) 19:00 より 国際ホテルにて

20.閉会：(歌一行)

21.点 鐘：(安楽城大作)